

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 4 年 10 月 15 日 (13 : 30 ~ 14:00)
-----	--------------------------------------

1.初期支援(はじめのかかわり)

メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田 河井、河野、浅田、宮本
------	---

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	12 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画

- ・カンファレンスノートの活用を継続する。
- ・時間をみつけて、月1回のミーティングを行う。

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・カンファレンスノートは継続して活用できた。
- ・月1回の全体でのミーティングはできていないが、朝礼や終礼時に情報共有している。
- ・問題や気になることがある時には、その都度ミーティングを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	7	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、必要としている支援ができていますか?	4	8	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	6	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	2	0	13

できている点

- ・カンファレンスノートの活用にて情報の共有ができている。
- ・利用開始前には、ご本人様・ご家族様と面談し要望等理解し関わっている。
- ・新規利用者様には、ご本人様やご家族にも声掛けを多くすることを心掛け、コミュニケーションをとっている。

できていない点

- ・コロナ禍もあり、全員参加のミーティングができない。
- ・個人の気づきや考えを言える場が少ない。
- ・基本情報だけでは情報量が足りていない。
- ・利用者本人の要望が把握できない。
- ・ケアプランの評価が明確でない。

次回までの具体的な改善計画

- ・カンファレンスノートの活用を継続する。
- ・ミーティングは必要毎に行う。
- ・各自の気づきなど、朝礼時や終礼時に発表する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 15 日 (13 : 30 ~ 14:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田 河井、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	7 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画

・期日を決めて、目標の見直しをする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・目標の見直しはできている。
 ・体調や状態の変化した時には、その都度目標の見直しをしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	0	8	4	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	9	3	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	10	2	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	5	4	2	13

できている点

・担当者を中心に目標設定をし状態変化時見直しをしている。
 ・対話を増やし関係作りができた。
 ・日々の体調変化の把握はできている。
 ・毎日レクリエーションの時間を設け楽しんでもらっている。
 ・毎朝、目標を読み上げ意識して関わっている。

できていない点

・状態、状況の変化時、早急のプランの見直しができている。
 ・ご本人様と、ご家族様の目標に相違があることがある。
 ・状況により個々の関わりが十分でないことがある。
 ・ご本人様の目標、要望は十分に把握できない。

次回までの具体的な改善計画

・目標の見直しを期日を守り実行する。
 ・評価を確実にする。
 ・ご本人様、ご家族様との関りを深め気持ちを理解するよう努める。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	7 人	3 人	0 人	12 人

前回の改善計画
・日々の関わりの中で、本人や家族とコミュニケーションがとれるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
ご本人様とは、コミュニケーションをとれるが、ご家族様とはコロナ禍のため行事や家族会ができず機会が作れていない。ご家族とコミュニケーションをとって情報を得た人が全員に伝達するように努めた。 ご本人様の生活環境も理解しつつ無理のない日常生活を送って頂くよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	12	1	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	7	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	8	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	6	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	5	2	0	13

できている点
・ご本人様のADLに応じた介護はできている。 ・情報を共有し対応が統一している。 ・状況、状態の変化にも即座の対応ができています。

できていない点
・利用前の情報の把握ができていない。 ・ご本人様の気持ちの理解ができていないことがある。 ・ご家族様と会ってお話する機会が少なく、情報量が少ないことがある。 ・自分の担当するご利用者様以外の方の情報収集や把握が不十分であった。

次回までの具体的な改善計画
・ご本人様のできる事、できない事を理解し、統一した援助をする。 ・ご利用者様の「以前の暮らし方」の10項目を、担当者が情報収集し発信し共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 15 日 (13 : 30 ~ 14:00)
4.地域での暮らしの支援	メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田 河井、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	5 人	6 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・前年度の実施計画の継続。 ・利用していない時間をどのように過ごしているのか考える視点をもつ。 ・ご本人・ご家族に定期的に声掛けを行い、話しやすい環境をつくる。 ・地域資源について学ぶ場をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用していない時間をどのように過ごされているか全部は把握できていないが、日々の会話や連絡ノートなどで情報交換している。 ・なかなか難しくできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	12	1	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	8	4	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	13	0	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	4	9	0	0	13

できている点	・利用前の生活スタイルは、フェースシートで把握できた。 ・お話しボランティア、見守り安心ネットワーク、成年後見制度等利用している。 ・必要な地域の資源を把握し活用している。(かかりつけ医の受診、配食弁当、買い物、ゴミ収集等) ・地域の民生委員の方に積極的に挨拶するようにしている。
--------	---

できていない点	・訪問に入る方は日常の暮らしぶりはわかるが、地域の関係性までは把握できていない。 ・自宅での過ごし方は把握しにくい。 ・地域の方との関係性の維持がわかりにくい。 ・認知症で一人暮らしの方の在宅での生活が把握できない。 ・コロナ禍で行動範囲が制限されできない事が多かった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・入浴時等ゆっくりお話しできる時間を利用し、ご本人様より情報を聞き出す。 ・ご家族様から情報を聞き、暮らし方や行動を理解する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 15 日 (13 : 30 ~ 14:00)
5.多機能性ある柔軟な支援	メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田 河井、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	8 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画

・小規模の仕組み(皆でサービスを分け合う)を、利用前にご家族に説明し、ご理解頂けていると思うが、今後も継続してお伝えし、必要な時に必要な方に支援をしていけるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用前に説明し変更があった時は、その都度説明している。
・必要な支援、その時々にあった対応を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	7	5	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	8	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	7	2	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	7	0	0	13

できている点

・状況に応じた支援ができている。
・カンファレンスノートの活用で情報の共有ができ、朝礼、終礼時にミーティングしている。
・他事業所のリハビリや訪問看護、お話しボランティア、個別ゴミ収集、お弁当等利用し支援している。

できていない点

・定員や職員に限りがあり、サービスの提供が難しいことがある。
・地域の資源とは何か理解できていない。

次回までの具体的な改善計画

前回の改善計画を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 21 日 (13 : 30 ~ 14:00)

6.連携・協働

メンバー 青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田
河井、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	3 人	5 人	3 人	12 人

前回の改善計画 ・感染対策をしっかりと行っただけで活動を行っていく。 ・コロナウイルスの感染が落ち着けば、地域の方にホームに来て頂けるようなイベントの企画や、地域のイベントにも出向いて行きたい。
前回の改善計画に対する取り組み結果 ・コロナ禍の為、地域のイベントや健康フェア等も中止の状況である。 ・ホーム内の活動、イベントを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス期間(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行なっていますか？	0	11	2	0	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	0	11	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	1	1	11	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	13	13

できている点 ・運営推進会議で民生委員さんや市役所の方に意見を頂き、議事録にて発信している。
--

できていない点 ・コロナ禍の為、イベント等への参加はできていない。

次回までの具体的な改善計画 前回の改善計画を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 4 年 10 月 21 日 (13 : 30 ~ 14:00)
-----	--------------------------------------

7.運営

メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田 河井、河野、浅田、宮本
------	---

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	1 人	8 人	3 人	12 人

前回の改善計画 ・地域に必要とされるための拠点であるための取り組みをどのようにすればできるかを話し合っていく
前回の改善計画に対する取り組み結果 ・地域の方から利用についての相談があった時には、お話をお聞きし対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	7	4	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	10	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	10	0	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行なっていますか？	0	2	5	6	13

できている点 ・事業所の運営方針や今後の計画などは文章で伝達されている。 ・意見や苦情のあった時には、関係部署の上司に報告し対応している。 ・職場アンケートが実施された。

できていない点 ・地域の方と、ご利用者様やご家族様の関係性が把握できてなく、接し方がわからないことがある。 ・事業所のあり方について、職員として意見を言うことはできていない。 ・職場アンケートの結果はまだできていない。

次回までの具体的な改善計画 ・地域に必要とされるための拠点であるための取り組みをどのようにすればできるかを話し合っていく
--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 21 日 (13 : 30 ~ 14:00)
8.質を向上するための取組み	メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田 河井、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	引き続きヒヤリハットの対策等をしっかり検討し、事故防止・再発防止に取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ささいな内容でもでもヒヤリハットにあげ対策、防止できた。 ・ヒヤリハットで対策することで、同様のヒヤリハットが少なくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内、職場外)を実施・参加していますか	5	8	0	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	8	0	0	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	3	0	13

できている点	・院内研修は毎月実施されておりスキルアップはできている。 ・地域連絡会、院内会議には参加し、スタッフに伝達している。 ・ヒヤリハット提出により、リスクマネジメントに全スタッフで取り組んでいる。 ・資格維持のための研修、認知症実践者研修に参加している。
--------	--

できていない点	・希望していた研修がコロナ禍で中止になり参加できなかった。 ・ヒヤリハットの出た当面は気をつけているが、月日が経つとまた繰り返すことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・引き続きヒヤリハットの対策に取り組む。 ・声を掛け合い、ヒヤリハットの防止に努める。 ・研修の成果を発表する時間を作り全員で取り組む。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 21 日 (13 : 30 ~ 14:00)
9.人権・プライバシー	メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、高田 河井、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	13 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画 ・プライバシーが守られていないと思われる場面があった時には、当事者が認識していないこともあるので、職員間で注意し合い取り組んでいく。 ・成年後見制度について勉強する。 ・排泄時の声かけ・誘導の仕方について、さらに検討していく。 前回の改善計画に対する取組み結果 ・成年後見制度について研修は受けたが、うまく説明できない。 ・プライバシーが守られていない場合、スタッフ間で注意できたと思う。 ・話し声が聞こえやすく、プライバシーが守られていないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行なわれていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	5	7	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	3	1	2	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	5	0	0	13

できている点 ・成年後見制度を利用している方がいる。 ・身体拘束、虐待等は一切行われていない。 ・電話対応など名前を出さない、場所を変えるなど注意している。 ・入浴、排泄等のプライバシー保護に努めている。
--

できていない点 ・成年後見制度について、よく理解できていない。 ・スタッフの集まる場所が、ご利用者様の集うホールと同じで、会話が聞こえる可能性があった。 ・情報共有時に、大声で話していることがある。
--

次回までの具体的な改善計画 ・狭い空間なので声の大きさ伝達方法など工夫しプライバシー保護に努める。 ・排泄の声掛け、誘導の仕方について検討し統一した援助をする。 ・スタッフ専用の部屋があると話し合いがしやすいため、設置してもらえるように意見を出していきたい。
--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表(2022年度)

法人名	医療法人みやうち	代表者	野村陽平	法人・事業所の特徴	併設の病院を中心とした、近隣事業所との交流を行い、ご利用者様が閉じこもることのない環境を提供している。また、個々の健康に配慮し、体調の変化に注意しながら、病院スタッフとも連携をとり、異常の早期発見に努め、ご本人はもちろんご家族にも安心して生活していただけるようにしている。
事業所名	小規模多機能ホーム 宮内温泉湯治の館ひまわり	管理者	青木照美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人	2 人	0 人	4 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者様の心身の状態や生活を理解することによって、職員の意識介護レベルを上げていくようにしていく	職員全員、毎月eランニング研修を受講し介護のレベルアップに努めた。ご利用者様の心身の状態や生活の状況を、毎日の朝夕の会で情報共有し理解できるように努めた。	特になし	引き続き、ご利用者様の心身の状態や生活を理解するようにしていく。外部での研修にも参加し、個人の介護レベルを上げていくようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナが落ち着き皆さんに来ていただけるようになったら、事業所の様子がわかるように、地域の方や、ご家族様に催しの案内を行い、参加してもらい施設を多くの人に見てもらえるよう努力する。	コロナ禍でホームに来てもらうことはできなかった。	コロナ対策で、テーブル等いいものを揃えてもらっていますね(ご利用者様)季節ごとに色々飾られて、外からだけに見えるのが楽しみです(ご家族様)	コロナが落ち着き皆さんに来ていただけるようになったら、地域の方や、ご家族様に催しの案内を行い、参加してもらい施設を多くの人に見てもらえるよう努力する。
C. 事業所と地域のかかわり	事業内容を知って頂き理解してもらい気軽に何でも相談してもらえる事業所になるために、訪問や送迎の時、ご近所の方と顔を合わせる機会があった時には、こちらから積極的に挨拶し信頼関係を築いていくように努める	訪問や送迎時、ご近所の方に出会った時には積極的に挨拶をするようにした。また、一人暮らしの利用者様のご近所の方や民生委員の方には、何かあった時には気軽に声をかけてもらえるよう連絡先を伝えるように努めた。	特になし	地域の方に出会った時には、こちらから積極的に挨拶し、気軽に声をかけ相談してもらえる関係を築いていけるように努める
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外出できるようになったら、地域の行事やイベントに参加していく	コロナ禍で地域の行事やイベントも中止になっていたり、感染のリスクがあり参加する事ができなかった。気候の良い時期には地域の公園にドライブに行き外出する機会をもつことができた。	コロナの感染状況等を見ながら、地域のイベントにも出向いて行ってみようか？	コロナが落ち着いてきたら、地域の行事やイベント等へ参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	利用者様、ご家族、民生委員の方や地域の方に、ご意見をお聞きし、運営推進会議で検討して、より良い施設を目指していく	会議の前には、案内のプリントを出し意見を出してもらえるよう努めた。高齢介護禍や地域の民生委員様には、毎回意見をいただくことができた。	特になし	利用者様、ご家族、民生委員の方や地域の方に、ご意見をお聞きし、運営推進会議で検討して、より良い施設を目指していく
F. 事業所の防災・災害対策	毎月の防災訓練の様子を引き続き運営推進会議で報告していくと共に、消防署の方にも声をかけて、防災訓練を行い指導を仰いでいく。夜間想定回数を増やしていく。	防災訓練については、毎回会議で報告できた。消防署の方に来ていただいていた訓練は実施できなかったが、夜間想定での回数を増やし訓練することができた。	水害や災害の時の避難経路や避難場所を再確認してください。火災が発生しないよう気をつけてもらいたい。	毎月の防災訓練の様子を引き続き運営推進会議で報告していくと共に、消防署の方にも声をかけて、防災訓練を行い指導を仰いでいく。また、火災予防にも努める。